

そらこめ通信

No.17 2011.12発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

新米の発売開始から1ヶ月半が経ちました。おかげ様で多くの皆様からご注文を頂いており、私共も日々精米と商品の発送に汗を流しているところです。

先日(11月26日)、日本農業新聞、日本経済新聞、北海道新聞に新品种「ゆきさやか」(北海302号)の話題が載っていました。種を開発した「北海道農業研究センター」(通称、北農研)さんによるプレスリリースと思われます。私共も今年の春から「試験栽培」という形でこの新しい品種の栽培に関わらせていただいているわけですが、こうして新聞などで取り上げられるのを見ると、何か誇らしいような?不思議な感じがするものです。

「ゆきさやか」と同時に北農研さんから種を譲り受け、弊社で試験栽培をしている「ゆきがすみ」(北海300号)も、それに勝るとも劣らない食味を持っています。ただ、今回北農研さんが「ゆきさやか」を前面に押し出した背景には、「食味」もさることながら、その品種の収量性及び品質が年次による気候変動に左右されにくいという特性を持っていること、が大きな要因なのだろうと思います。

新しい品種が世に出るか出ないかは、多くの農家はその品種を好んで栽培するかしないか…という問題でもあります。先に述べましたが、「ゆきさやか」は多収性があり、年次による品質のブレが少ない品種です。そういう品種は、他の品種に比べ一般の農家に受け入れられやすいのは確かです。ただ、本音を言えば弊社としては、本当に「美味しい米」だけを作りたい…。その品種が他では栽培されていないものであっても…です。

そういう意味で、これからもこの方向性を堅持しながら、前に進んで行きたいと考えています。



「JA北いぶき」さんに今年最後の出荷(10月24日)

畦畔の補修～この時期は来春に向けて準備作業の時期でもあります。



今年の収穫の切り上げに、家族含めた関係者で登別温泉に1泊 (11月12日～13日)



関係者一同、楽しい旅になりました



夕食で挨拶をする木村社長



木村社長の大学時代の友人で士別市にお住まいのNさんの精米システムを見学(11月21日)…とても参考になりました。

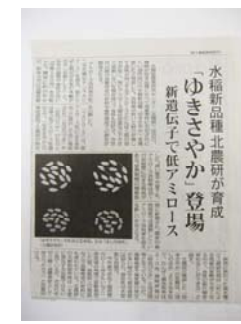


「JA北いぶき」さんにて、急遽追加で米の等級検査を受けました。(11月25日)
とても嬉しい悲鳴…と言っても何ですが、予想外の売れ行きに来春までに玄米の在庫が底をつく恐れが出てきたため、急遽
籾摺りをして等級検査を受けました。この米は、来春に籾摺りをして「今摺り米」として販売を予定していた米…。弊社の籾摺り機が設置してある倉庫が少し高台にあるため、雪に閉ざされた真冬には籾摺りができません。また、併せて等級検査も受けなければいけない為、今の内に籾摺り作業をすることにしました。
来春の「今摺り米」の販売ですが、すべて無くなってしまったわけではありません。食味変化を抑えるための実験として、どうしても実施したかった来春の「今摺り米」…。「ななつぼし」だけですが、残してあります。来春(6月頃)、今と変わらぬ風味の「今摺り米」をお届けしたいと考えていますのでよろしくお願い致します。

弊社で販売している新品种「ゆきさやか」(北海302号)が3紙に取り上げられました。(11月26日)
この品種は、国の研究機関、「農研機構北海道農業研究センター」(通称、北農研)さんが開発した新しい品種です。ちなみに、同じ北農研さんが開発し、弊社でも販売している「ゆきがすみ」(北海300号)も、これに勝るとも劣らない食味です。ぜひ、この機会にご賞味下さい。



日本経済新聞社



日本農業新聞社



北海道新聞社

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>

ブログ「生産日誌」更新中です(見て下さいね)